

平成27年12月期決算(連結)参考資料

2016年2月12日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード:9656)

<http://www.greenland.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

目次

1. 平成27年12月期決算	3
2. 平成28年12月期業績予想	7
3. 業績推移	8
4. 役員等人事	9
5. 2016年の取り組みについて	10

(単位:百万円)

1. 平成27年12月期決算

① 連結

	平成26年	平成27年	増減	増減率
売上高	7,518	7,941	423	5.6%
営業利益	242	498	255	105.2%
経常利益	268	470	201	75.0%
当期純利益	171	280	109	63.7%

【概況】

当連結会計年度は、夏休みやシルバーウィーク等の繁忙日での集客策や海外顧客の取込等が奏功し、遊園地事業、ゴルフ事業、ホテル事業ともに好調に推移しました。

その結果、当社グループの業績は前連結会計年度を上回る結果となり、さらに各利益項目において過去10年間で最高を記録しました。

【売上高及び営業利益】

売上高で423百万円増収に対して営業利益255百万円増益の要因は、主に遊園地事業・ホテル事業の増収増益によるものであります。

(②のセグメント別表をご覧ください。)

【当期純利益】

経常利益の増201百万円に対して、法人税等の67百万円増加等により、当期純利益は109百万円の増益となりました。

② セグメント別売上高 ・ 営業利益

(単位:百万円)

	売上高			営業損益		
	平成26年	平成27年	増減	平成26年	平成27年	増減
遊 園 地 事 業	3,854	4,228	373	364	522	157
ゴ ル フ 事 業	1,023	1,081	58	33	67	33
ホ テ ル 事 業	2,159	2,272	113	△8	104	113
不 動 産 事 業	160	150	△10	93	92	△1
土 木 ・ 建 設 資 材 事 業	320	208	△111	48	20	△28
消 去 又 は 全 社	—	—	—	△289	△308	△19
合 計	7,518	7,941	423	242	498	255

【遊園地事業】



売上高：九州の遊園地では、季節毎の多彩なイベントの開催やイルミネーションの拡充及び大型アトラクションのリニューアルなどの園内施設の魅力向上への取り組みに加え、夏休み以降の繁忙日が好天に恵まれたこともあり、261百万円(8.2%)の増収となりました。

北海道の遊園地では、種々のイベントの開催効果、大観覧車のリニューアルや新アトラクションの導入等の効果もあり利用者数が増加し、スキー場が暖冬による営業期間の短縮で前年を下回る売上高になったものの、遊園地の好調により、北海道の遊園地事業で111百万円(16.6%)の増収となりました。

以上の結果、遊園地事業の売上高は前期比373百万円増収(9.7%)の4,228百万円となりました。

営業利益：売上高の増加により、157百万円増益(43.2%)の522百万円となりました。

【ゴルフ事業】

売上高：直営3ゴルフ場では多彩なイベントの開催や、コースの整備・改良、浴室・ロッカー室・トイレなどのクラブハウス内設備の改修を実施し、コースの魅力度アップや顧客満足度の向上に取り組みました。

従来より海外ゴルフ場との相互施設利用契約や韓国人向けゴルフ会員権の販売等海外客誘致に積極的に取り組んでおり、円安傾向も追い風となって年々海外来場者が増えておりますが、今期は韓国の来場者及び会員権販売が順調に増加し、過去最高の海外来場者実績となりました。

以上の取り組みの結果、3ゴルフ場ともに入場者数が増加し、韓国における会員権販売も順調であったため、売上高は前期比58百万円増収(5.7%)の1,081百万円となりました。

営業利益：売上高の増加、特に韓国人向け会員権販売収入の増加により、前期比33百万円増益(100.1%)の67百万円となりました。

【ホテル事業】

売上高 :九州のホテルでは、花火大会観覧席付宿泊プランの新設や遊園地を利用した婚礼プラン等遊園地に隣接した立地を生かして商品販売に努めました。

北海道のホテルでは、改装した客室の積極的な販売や様々なイベントの開催により集客を図りました。

九州のホテル事業で客室稼働が好調であったことにより宿泊料飲で売上が増加したこと等により前期比56百万円の増収(3.7%)、北海道のホテル事業で宴会部門が好調であったこと等により前期比56百万円の増収(9.0%)となり、ホテル事業の売上高は、前期比113百万円増収(5.2%)の2,272百万円となりました。

営業利益 :売上高の増加や九州のホテルの経費減少等により前期比113百万円増(前年は営業損失8百万円)の104百万円となりました。

【不動産事業】

売上高 :土地の賃貸料収入が減少したため、売上高は前期比10百万円(△6.3%)減収の150百万円となりました。

営業利益 :前期比1百万円減益(△1.4%)の92百万円となりました。

【土木・建設資材事業】

売上高 :前期で一部受注工事が終了したことにより土木資材の販売が減少したため、前期比111百万円減収(△34.9%)の208百万円となりました。

営業利益 :売上高の減少に伴い、前期比28百万円減益(△58.7%)の20百万円となりました。

2. 平成28年12月期業績予想

(単位:百万円)

	平成28年予想	平成27年実績	増減	増減率
売上高	7,800	7,941	△141	△1.8%
営業利益	350	498	△148	△29.8%
経常利益	300	470	△170	△36.2%
当期純利益	200	280	△80	△28.7%

上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる可能性があります。

3. 業績推移

連結(通期)

(単位:百万円)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年予想
売上高	7,635	7,873	7,518	7,941	7,800
営業利益	269	360	242	498	350
経常利益	205	309	268	470	300
当期純利益	127	191	171	280	200

4. 役員等人事

平成28年3月24日開催予定の定時株主総会において正式に決定

1. 新任取締役候補

取締役(非常勤) 西本純一氏 昭和31年12月28日生 59歳

【略 歴】

平成22年6月 株式会社肥後銀行業務統括部副部長兼事務企画室長

平成23年4月 同行監査部長

平成23年6月 同行監査役(常勤)

平成26年6月 同行取締役常務執行役員(現任)

2. 退任予定取締役

取締役(非常勤) 上野豊徳氏 (現 株式会社肥後銀行 常任監査役)

5. 2016年の取り組みについて

【遊園地事業】

①グリーンランド遊園地(九州)

2016年、遊園地は開園50周年を迎えます。

■春イベント

1. 「ONE PIECE メモリアルログ 新世界激闘編!! in 熊本グリーンランド」

期間:2016年3月5日(土)~6月5日(日)

2. 「仮面ライダーゴースト 魂バトルステージ」

2016年3月5日(土)~6月26日(日)期間中の土日祝

および、春休み(3月25日(金)~4月6日(水))・GW(4月29日(祝・金)~5月6日(金))

■新アトラクション 2機種登場「プテラドン」「エキサイトグランプリ」

■ミルキーウェイ 織姫(座り乗り)が新型車両となり、BGM機能搭載のサウンドコースターとしてリニューアル

■イルミネーションのさらなる拡充(ミルキーウェイのLEDライトアップ他)

■全長30メートルのプロジェクションマッピングロードが登場

■その他の開園50周年記念の取組

- ① 春の花火大会「HANABIフェスティバル」
- ② 年間フリーパス期間限定販売
- ③ 仮面ライダーショー特別観覧席前売券発売
- ④ 前売券プレゼントキャンペーン開催
- ⑤ 遊園地スタッフ 制服リニューアル

【遊園地事業】

②北海道グリーンランド遊園地

■春イベント

- ・スーパードック&モンキーサーカス:4月23日～5月8日と5月14～29日期间中の土日
- ・GW(ゴールデンウィーク)特別イベント
 - ①仮面ライダーゴースト&ドライブショー:5月4日～8日
 - ②「妖怪ウォッチ」ショー:4月29日～5月8日、5月15日
 - ③魔法つかいプリキュアショー:4月29日～5月3日
- ・プリキュアオールスターズがやってくる! :5月22日
- ・動物戦隊ジュウオウジャー:5月29日、6月5日

■夏イベント

- ・大型音楽イベント「JOIN ALIVE」(ジョインアライブ)
- ジェットコースター「GO-ON」及び北海道最大級の屋外ステージのリニューアル
- 遊具の保守点検とメンテナンスの強化による安全面の強化

【ゴルフ事業】

- 開場50周年を迎えるにあたり、さまざまイベントを開催
- 最新式ナビゲーションシステムへの入替による施設面のグレードアップ及び利用料金の改定
- 海外のゴルフ場との提携や海外スタッフによる対応、韓国向け会員権の販売等、これまでの積極的な取り組みにより増加した韓国を含む海外客への万全な対応
- ティーグラウンドやグリーンの拡張、樹木の剪定など、コース整備による魅力アップ
- クラブハウス周辺の整備を実施し施設・設備面のグレードアップ
- キャディ教育を充実させ、セルフプレー化の進む近隣ゴルフ場との差別化
- 元研修生スタッフ等が参加し、海外及び国内提携ゴルフ場でイベントを開催することにより、提携ゴルフ場との交流をさらに推進する

【ホテル事業】

ホテルブランカ・ヴェルデ

- グリーンランドリゾート全体の宿泊拠点としての役割・機能強化
様々な商品造成・サービス展開によるオフィシャルホテルとしてのブランドイメージの向上
「グリーンランド」開園50周年と連携したプランの造成

【ホテルブランカ】

- ・年間を通じたイベント(春から夏のバーベキュー、秋から冬の鍋イベント)を実施するとともに、内容と料金の見直しによる売上高の拡大に努める
- ・昨年実施したベビールームの新設や部屋の増設等に引き続き、館内リニューアルによる顧客満足度向上

【ホテルヴェルデ】

- ・今春、宴会場をリニューアルすることに伴い、新しくなった宴会場を使って様々なイベントを仕掛け、宴会、婚礼獲得に繋げていく
- ・レジャー施設や温泉施設に囲まれた立地条件を活かして、昨年秋にオープンしたキャンプ場を春よりオープンさせ、集客に努める
- ・館内外のイルミネーションを拡充し、魅カアップにより、レストラン・婚礼部門の集客を強化
- ・遊園地の春イベント開催にあわせ「仮面ライダーゴーストルーム」を期間限定で新設するほか、プレミアム宿泊プランの設定など特徴ある商品づくりに努める

【ホテル事業】

ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

- 遊園地・ホテル・公園をあわせたリゾート全体のスケールメリットを活かし、セットプランなどの造成・販売に努め、集客拡大に取り組む

【サンプラザ】

- ・客室のリニューアルに伴う宿泊料金改定や高単価プラン(50品以上取り揃えた朝食バイキング付等)への誘導による売上拡大
- ・ホームページを充実させることにより、ネット予約の拡大や婚礼営業の強化

【北村温泉】

- ・宿泊、宴会、レストラン、温泉にパークゴルフを組み合わせたセットプランの販売を強化
- ・バスを保有している強みを活かした無料送迎等のサービス展開による集客強化

九州及び北海道のリゾートエリアや施設利用提携先の情報を発信し、相互のエリアからの交流を通じた集客に努める

【不動産事業】

- ・新規テナントの誘致に向けた活動を強化
- ・各事業用地の周辺部を含めた景観改善の整備を進める

・グリーンランドリゾートエリアの変遷

昭和41年	7月	三井グリーンランド遊園地営業開始
昭和41年	9月	三井グリーンランドゴルフ場営業開始
昭和43年	9月	三井グリーンランドホテル営業開始
平成 6年	10月	ホテルヴェルデ営業開始
平成 7年	6月	モナコパレスグリーンランド店オープン
平成10年	3月	天然グリーンランド温泉「弥生乃湯」オープン
平成15年	11月	ヌルボンガーデン荒尾オープン
平成17年	4月	パスカワールドグリーンランド店オープン
平成18年	11月	グリーンスマイル1番館オープン
平成20年	4月	グリーンスマイル2番館オープン
平成23年	9月	ナフコ荒尾東店オープン
平成25年	4月	大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始

【土木・建設資材事業】

- ・新規及び既存事業への積極的な営業活動
- ・土木建設工事の積極的な受注
- ・コールサンド、ポゾテックなどの建設資材の販売強化による収益体制の底上げ